

iPassConnect 3.51 ユーザ ガイド

バージョン: 1.0, December 2006

本社
iPass Inc.
3800 Bridge Parkway
Redwood Shores, CA 94065 USA



www.ipass.com
+1 650-232-4100
+1 650-232-0227 fx

目次

はじめに	3
iPassConnect の使用	9
セットアップ	12
接続と切断	19
追加機能	25
サポート	35
トラブルシューティング ヒント	37

Copyright © 2006, iPass Inc. All rights reserved.

商標

iPass、iPassConnect、および iPass ロゴは iPass Inc. の商標です。その他のブランド名や製品名はすべて、それぞれの会社の商標または登録商標です。

保証

本書のいかなる部分も、著作権者の事前の同意なしに、複製、開示、電子的な配布、または使用することはできません。

ソフトウェアおよび文書の使用には、iPass 企業リモート アクセス契約、またはチャネル パートナー再販契約の条項が適用されます。

本書内の情報は予告なく変更されることがあります。

本書では可能な限りにおいて架空の企業および場所を使用いたしました。実際に同じ企業名または場所が存在した場合は完全なる偶然であり、宣伝を意図するものではありません。



はじめに

iPassConnect™ 3.51 for Windows へようこそ! このガイドには、iPassConnect を使用するための手順としてご使用いただくことを目的として、インストール、設定、基本的な使用方法、および高度な使用方法に関する情報が記載されています。

iPassConnect を使用すると、プロバイダの iPass グローバル ネットワークを通じてインターネット およびエンタープライズ リソースに接続できます。さらには、VPN、パーソナル ファイアウォール、または Web ブラウザといった他のプログラムを自動的に起動するように、iPassConnect をカスタマイズできます。

システムの必要条件

ハードウェアの必要条件

- Pentium III プロセッサ
- 256 MB のメモリ
- 100 MB のハード ディスク容量
- TCP/IP プロトコル
- 16-bit のカラー モード
- 使用する接続タイプに応じて、少なくとも以下の接続デバイスのいずれか 1 つ
 - GSM 接続用の GSM モデム
 - ISDN 接続用の ISDN ターミナル アダプタ
 - ダイヤルアップ接続用の 56K v90/92 モデム
 - PHS 接続用の PHS 電話
 - WLAN 接続用の WLAN アダプタ
 - イーサネット接続用のイーサネット アダプタ
 - モバイル データ接続用のモバイル データ カード

オペレーティング システムの必要条件

- iPassConnect 3.51 は、Microsoft Windows 2000 SP 4 以降、Windows XP Home または Professional SP 1 以降でサポートされています。また、Windows XP Professional SP 2 でもテストされています。

- ご使用のオペレーティングシステムを対象とした Microsoft が推奨しているすべての Windows アップデートをインストールすることを強くお勧めします。

サポートされているハードウェア

ワイヤレス カード

WLAN 接続には 802.11x ワイヤレス カードが必要となります。次のページの表に表示されているワイヤレス カードは、iPassConnect 3.51 を使用して iPass ネットワークに正しく接続できることがテストで確認されています。

カード	ファームウェア	NDIS
3Com 802.11 a/b/g 3CRPAG175 Wireless LAN PC Adapter	1.0.0.25	
Cisco Aironet 350 Wireless Adapter (802.11b)	V4.25.30	V7.29
Cisco Aironet 340 Wireless Adapter (802.11b)		V6.64
Cisco Aironet 802.11 a/b/g Wireless Adapter		1.0.0.305
D-Link Air DWO-650	2.0.10.0	
IBM 802.11 a/b/g Wireless CardBus Adapter	2.4.1.21	
Intel Centrino Mini-PC Card		
Intel Pro/Wireless 2011 (802.11b)		V4 または V5
Intel Pro/Wireless 2011B (802.11b) (新しい Intel Proset)		
Intel Pro/Wireless 5000 LAN Cardbus Adapter (802.11b)	V1.0.10	
Linksys Wireless USB Adapter (802.11b)	V2.5	
Linksys Dual-Band Wireless A+G Notebook Adapter	2.4.2.33	
Lucent Orinoco 802.11b PC Card Gold World Card PC24E-H-FC	7.14.01	
Microsoft USB 802.11b Adapter (デスクトップ PC 用)	V1.31.9.0	4.10.2222
Microsoft Wireless Notebook Adapter MN-720		3.20.26.0
Microsoft Wireless USB 2.0 Adapter MN-710		1.0.8.0
Nokia C110/C111 Wireless Adapter	V0.0.104.0	
Orinoco 802.11ag ComboCard Gold		2.3.0.75
Orinoco 802.11ag ComboCard Silver		2.3.0.75
Toshiba Wireless LAN mini PCI Card		1.0.8.0

モバイル データ カード

iPassConnect モバイル データ接続を利用するには、モバイル データ プロバイダからアカウントを取得し、サポートされているモバイル データ PCMCIA カードを使用する必要があります。

以下のカードは、iPass モバイル データで正常に動作することが確認されています。それぞれの表には、カードの製造元とモデル、カードが動作する周波数帯、ネットワーク タイプ、およびカードがテストされたオペレータと地域が示されています。

iPassConnect にはモバイル データ カード ドライバは含まれていません。モバイル データ キャリアのアカウントをインストールして有効にすると、カード ドライバがインストールされます。キャリアのネットワークに接続するためのカードは、iPassConnect での使用に先立って、キャリアのクライアントを使用してフル インストールおよびテストする必要があります。

カード	ネットワーク タイプ	帯域	オペレータ: テストされた地域
AudioVox PC 5220	CDMA, 1xEV-DO	800 MHz 1900 MHz	Verizon: 米国
Gtran DotSurfer 3000	CDMA, 1xEV-DO	1900 MHz	New Zealand Telecom: ニュージーランド
Hitachi W03H	CDMA 1xWIN	1900 MHz	KDDI: 日本
Kyocera W01K	CDMA 1xWIN	1900 MHz	KDDI: 日本
Maxon Electronics Minimax	CDMA, 1xEV-DO	1900 MHz	Telstra: オーストラリア
Novatel Merlin S620	CDMA, 1xEV-DO	1900 MHz	Sprint: 米国
Novatel Merlin U520	GSM, GPRS, UMTS	UMTS:1900 MHz	Cingular: 米国
Novatel Merlin U530	GSM, GPRS, UMTS	GSM/GPRS 900 および 1800 MHz UMTS:2100 MHz	Cingular: 米国
Novatel Merlin U630	GSM, GPRS, UMTS	UMTS:2100 MHz, GSM/GPRS 900, 1800, および 1900 MHz	T-Mobile E+: ドイツ Vodafone: イギリス, ドイツ, フランス O2: イギリス
Novatel Merlin V620	CDMA, 1xEV-DO	1900 MHz	Verizon: 米国
Option Globetrotter Fusion Card	GSM, GPRS, UMTS, WLAN (802.11g)	GSM/GPRS:900 および 1800 MHz UMTS:2100 MHz	Vodafone: イギリス, ドイツ, フランス O2: イギリス Orange: イギリス, フランス
Option Globetrotter Fusion Quadband Lite	GSM, GPRS, UMTS	GSM/GPRS:900 および 1800 MHz UMTS:2100 MHz	Vodafone: イギリス, ドイツ, フランス O2: イギリス Orange: イギリス, フランス
Option Globetrotter Tri-band	GPRS/GSM	900 MHz 1800 MHz 1900 MHz	Vodafone: イギリス, ドイツ, フランス および US O2: イギリス

カード	ネットワークタイプ	帯域	オペレータ: テストされた地域
			Orange: イギリス、フランス
Seiko VC701si	CDMA 1xWIN	1900 MHz	Vodafone: 日本
Sierra Wireless AC 555R	CDMA2000、1xRTT、CDMA IS-95	850 MHz 1900 MHz	China Unicom: 中国
Sierra Wireless AirCard 550	1XRTT CDMA2000	1X 1900	SprintPCS: 米国
Sierra Wireless AirCard 555D	1XRTT、CDMA2000	1X 800 1X 1900	Verizon Wireless: 米国 Telecom New Zealand: ニュー ジーランド
Sierra Wireless AirCard 580	1XRTT、CDMA2000	1X1900	Verizon Wireless: 米国 iPass: 米国
Sierra Wireless AirCard 750	GPRS	900 MHz 1800 MHz 1900 MHz	O2: イギリス T-Mobile: 米国 AT&T: 米国
Sierra Wireless AirCard 775	EDGE、GSM/GPRS	850/900/1800/1900 MHz	Cingular: 米国 Bouyges Telecom: フランス
Sony Ericsson GC82	GPRS、EDGE	850 MHz 1900 MHz	AT&T: 米国 Cingular: 米国
Sony Ericsson GC83	GPRS、EDGE	850 MHz 1800 MHz 1900 MHz	AT&T: 米国 Cingular: 米国 イギリス、ドイツ、フランス でローミング
Sony Ericsson GC89	GSM、GPRS、EDGE	850 MHz、1900 MHz	Cingular: 米国
Vodafone Mobile Connect 3G	GPRS、UMTS	900/1800 MHz (GPRS の場合)、 2200 MHz (UMTS の場合)	Vodafone: イギリス、ドイツ、 フランス

サードパーティ アプリケーションとの統合

iPassConnect 3.51 は、以下のテスト済みサードパーティ製品 (記されているバージョン以降) と統合できます。

VPN

- Aventail VPN バージョン 5.1.2
- Check Point NG FP3
- Cisco Systems VPN Client バージョン 3.6.3
- NCP VPN バージョン 8.0

- Nortel Contivity バージョン 4.65.18
- PPTP (Windows OS に付属)

アンチウイルス アプリケーション

- Network Associates McAfee Enterprise バージョン 7.0
- Symantec Norton AV Corporate Edition バージョン 8.0
- Trend Micro OfficeScan Corporate Edition バージョン 5.58

パーソナル ファイアウォール

- ISS RealSecure (BlackIce) バージョン 3.1eah
- Sygate PFW Pro v5.0
- ZoneAlarm Pro – Integrity Desktop (ZAP1D) 3.7.172

iPassConnect のインストール手順

ご使用のシステムは、システムの必要条件 (3 ページに指定) を満たしている必要があります。そうでない場合、iPassConnect インストーラはインストールを行いません。

インストール作業を行うには、ローカルの管理者権限が必要です。


iPassConnect をインストールするには、次の手順に従います。

1. 社内のイントラネットまたはサービス プロバイダの Web サイトから、ソフトウェア インストール パッケージをダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
3. インストールの指示に従います。
4. 一連の短い処理ステップがあります。処理を完了すると、iPassConnect を使用できるようになります。

iPassConnect のアンインストール

iPassConnect をアンインストールするには、ローカルの管理者権限が必要です。

iPassConnect をアンインストールするには、次の手順に従います。

1. Windows のシステム トレイにあるアイコン  を右クリックし、[終了] を選択します。
2. Windows の [スタート] メニューから、[スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順に選択します。

3. [アプリケーションの追加と削除] を選択します。
4. リストから [iPassConnect] を選択します。
5. [変更と削除] をクリックします。
6. Windows によって iPassConnect がアンインストールされます。

以前のバージョンから iPassConnect 3.51 へのアップグレード

iPassConnect 3.30 より以前のリリースから iPassConnect 3.51 へアップグレードするには、ローカルの管理者権限が必要です。

バージョン 3.30 以降からバージョン 3.51 へアップグレードする場合は、管理者権限は不要です。

アップグレードが実施された後、あらゆるユーザ (パワー ユーザや制限付きユーザ) が 3.51 から新しいリリースへアップグレードできます。

iPassConnect の使用

iPassConnect は、iPass ネットワーク、プライベート アクセス ポイント、さらにはユーザ定義可能なパーソナル アクセス ポイントを使用して、世界中の何千というアクセス ポイントに接続できるデスクトップ クライアントです。WLAN、モバイル データ、ダイヤルアップ、イーサネット、ISDN、DSL、GSM、PHS など、利用可能な接続タイプのいずれかを使用して、インターネットと社内リソースの両方に安全にアクセスできます。選択したアクセス ポイントにログインするためには有効な識別情報が必要になります。

企業によって有効な機能が異なるため、iPassConnect の実際の機能はここでの一般的な説明と異なる場合があります。iPassConnect 設定の仕様に関する詳細については、ヘルプ デスクにお問い合わせください。

利用可能なネットワーク

iPassConnect はローカル ブロードバンド ネットワークを自動的に検出し、簡単に接続できます。電話帳の [利用可能なネットワーク] 一覧にはアクセス可能なイーサネット、WLAN、およびモバイル データ ネットワークが表示されます。

- ラップトップ コンピュータにイーサネット カードが装備されている場合、イーサネット ネットワークをコンピュータに接続すると、ネットワークは自動的に検出され、接続のために表示されます。
- ラップトップ コンピュータに WLAN カードが装備されている場合、両方のローカル ワイヤレス ホットスポットについて、エリアが自動的にスキャンされます。検出されたホットスポットが表示されるので、すばやく簡単にアクセスできます。
- モバイル データ カードとモバイル データ キャリアのアカウントを持っている場合、モバイル データ ネットワークのエリアが自動的にスキャンされます。

利用可能なネットワークを選択し、有効な識別情報でサインインするだけで接続されます。(iPass 対応ネットワークの場合は標準の iPass 識別情報を使用できます)

自動検出の詳細については、19 ページを参照してください。

電話帳接続

iPassConnect はローカルで利用可能なネットワーク自動表示が可能だけでなく、電話帳と呼ばれる、グローバルなアクセス ポイントのディレクトリを含み、モデム、イーサネット、ISDN、DSL、GSM、および PHS アクセス ポイントの世界規模の一覧を提供します。電話帳を使用して、エリア

のアクセスポイントを地理的な近さや電話番号別にすばやく検索できます。iPassConnect は利用可能なアクセスポイントを接続タイプ毎に表示するので、接続したいものを選択できます。アクセスポイントの検索と接続の詳細については 22 ページを参照してください。

パーソナル ネットワーク

パーソナル ネットワークを使用すると、iPass ネットワークに含まれておらず、有効なログイン識別情報を持っているネットワーク アクセスポイントにすばやく簡単に接続できます。たとえば、地域のカフェに頻繁に訪れ、店のパブリック WLAN ホットスポットを利用したい場合、そのホットスポットをパーソナル ネットワークの一覧に追加できます。詳細については、13 ページを参照してください。パーソナル ネットワークに接続するために有効なログイン識別情報とセキュリティ キーが必要になることがあります。

統合ソリューション

iPassConnect は、VPN ソフトウェア、パーソナル ファイアウォール、アンチウイルス アプリケーションといった個別のサードパーティ製セキュリティ ソリューションと統合されます。これらの統合されたソリューションは iPassConnect と共に起動するので、アクセスは安全かつセキュアになります。この統合はヘルプ デスクにより設定されます。

- オートコネクション統合: オートコネクション統合では、iPassConnect アイコンをクリックすると、インターネットに接続した時点でセキュリティ ソリューションも起動します。ユーザ側で操作する必要はありません。
- オートローンチ統合: オートローンチ統合では、インターネットに接続後、iPassConnect によって統合セキュリティ ソフトウェアが自動的に起動されます。ただし、iPass ネットワークへの接続に使用する識別情報に加えて、別のユーザ名およびパスワードの入力が必要になる場合があります。一般に VPN と組み合わせて使用する場合、VPN 識別情報は、[ログイン情報] ダイアログ ボックスで設定できます。
- オートティアダウン: オートティアダウン機能により、セキュリティ ソリューションが終了した場合にインターネット接続も自動的に安全に閉じられます。たとえば、パーソナル ファイアウォールの機能が停止した場合、iPassConnect は自動的に切断されます。
- ホームブロードバンド: ケーブル モデムや DSLなどを介して既にインターネットに接続しているホームブロードバンドユーザは、iPassConnect を使用してインターネット上に統合ソリューションを起動できます。

iPassConnect をセキュリティ ソリューションと統合する設定方法の詳細については、ヘルプ デスクに問い合わせてください。

さらに、Web ブラウザや電子メール クライアントといった他のアプリケーションを自動的に起動するように、iPassConnect をカスタマイズできます。詳細については 28 ページを参照してください。

拡張機能

多数の拡張機能が iPassConnect の接続動作を補完し、拡充します。こうした機能にはお気に入り、ソフトウェア アップデート、ダイヤルアップ拡張などがあります。iPassConnect 拡張機能の詳細については 25 ページを参照してください。

セットアップ

iPassConnect を使用する前に、ログイン情報や接続設定を入力し、必要に応じてパーソナル WLAN ネットワークの設定を行うなど、基本的な情報を iPassConnect に設定する必要があります。

ログイン情報

iPassConnect には、ユーザのログイン識別情報が保存されるため、すばやく簡単にログインできます。通常は、iPassConnect を初めて使用する前に、これらの情報を入力するだけで済みます。

- iPass パスワードは、英数字 15 文字以下で設定してください。
- インターネット アクセス用と VPN アクセス用に別々の識別情報が必要かどうかについては、ヘルプ デスクに確認してください。

ログイン識別情報を設定するには、以下の手順に従います。

1. [設定] メニューで、[ログイン情報] を選択します。
2. [インターネット識別情報] の下で、インターネット ユーザ名とパスワードを入力します。
3. インターネット パスワードを iPassConnect に保存したい場合は、[パスワードの保存] チェックボックスをオンにします。
4. 必要であれば、[部門/プロジェクト] に部門またはプロジェクトの名前を入力します。(この情報がログインに必要かどうかをヘルプ デスクに確認してください。)
- 5a. VPN を使用して社内のリソースに接続し、VPN 識別情報がインターネット識別情報と同じである場合は、[インターネット識別情報と同じ] チェックボックスをオンにします。次に、[NT ドメイン] ボックスに NT ドメインの名前を入力し、ステップ 5 に進みます。
- または -
- 5b. VPN 識別情報がインターネット識別情報と異なる場合は、[インターネット識別情報と同じ] チェックボックスをオフにします。次に、VPN ユーザ名、NT ドメイン名、および VPN パスワードを入力します。
6. [デフォルトの国] ドロップダウン リストから、iPassConnect のメイン ダイアログ ボックスの [国] フィルタにデフォルト表示する国を選択します。
7. [OK] をクリックします。

EAP-TLS 証明書

EAP-TLS は、ユーザ認証に電子証明書の交換を利用する、802.1X ベースの認証プロトコルです。EAP-TLS が有効な場合、ログインを実行する前に、こうした証明書に関する情報を設定しなければならない可能性があります。EAP-TLS 要件については、ヘルプ デスクに確認してください。

証明書情報を設定するには、以下の手順に従います。

1. [設定] メニューで [ログイン情報] を選択し、[証明書] タブをクリックします。
2. [ユーザ証明書] の下で、ドロップダウン リストから証明書を選択します。
3. [識別子] の下で、認証に使用される証明書の識別子タイプを選択します。次に、テキスト ボックスに実際の識別子を入力します (たとえば、mobileuser@example.com など)。
4. 証明書情報を表示するには、[情報] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。

パーソナル ネットワーク

iPass 対応の WLAN ホットスポットで接続を試行すると、検出されたホットスポットに対し、WLAN 設定が自動的に行われます。しかし、ネットワークの外側の WLAN ネットワークに接続する場合は、WLAN 接続を正しく設定する必要があります。設定済みかどうかに関わらず、検出されたすべての WLAN アクセスポイントは [利用可能なネットワーク] の下に一覧表示されます。

パーソナル ネットワークを使用すると、非ネットワーク アクセスポイントへすばやく簡単に接続できます。パーソナル ネットワークに接続するために、有効なログイン識別情報とセキュリティ キーが必要になることがあります。

パーソナル ネットワークを追加するには、次の手順に従います。

1. [設定] メニューで [接続の設定] を選択し、[WLAN] タブをクリックします。
2. [パーソナル ネットワーク] の下で、[追加] をクリックします。
3. [パーソナル ネットワークの追加] ダイアログ ボックスで、パーソナル ネットワークの SSID を入力します。または、[スキャン] をクリックして iPassConnect が自動的にローカル SSID を検出するようにします。ネットワークが SSID をブロードキャストしない場合は、[非ブロードキャスト] を選択します。
4. [セキュリティ] の下で、ドロップダウン一覧からネットワークで使用されるセキュリティ モードを選択します。次に、[キー] にそのタイプのセキュリティ キーを入力します。
5. [OK] をクリックします。

パーソナル ネットワークの設定を修正するには、次の手順に従います。

1. [設定] メニューで [接続の設定] を選択し、[WLAN] タブをクリックします。
2. [パーソナル ネットワーク] の下で、編集したいネットワークを選択し、[修正] をクリックします。
3. 必要に応じ設定を編集し、[OK] をクリックします。

パーソナル ネットワークの設定を削除するには、次の手順に従います。

1. [設定] メニューで [接続の設定] を選択し、[WLAN] タブをクリックします。
2. [パーソナル ネットワーク] の下で、編集したいネットワークを選択し、[削除] をクリックします。
3. 必要に応じ設定を編集し、[OK] をクリックします。

モバイル データの設定

iPassConnect でモバイル データ接続が有効になっている場合は、接続を試みる前にモバイル データ設定を行う必要があります。

検索

iPassConnect は、次のいずれかが生じた際に、システムのモバイル データ カードを自動的に検索します。

- iPassConnect がコンピュータにインストールされたとき
- コンピュータにモバイル データ カードをインストールまたは挿入したとき

デバイスが検出されると、ユーザ識別情報などのそれぞれのカードに含まれる設定は自動的に記録され、接続を試行する際に使用されます。しかし、カードによっては、これらの設定を手動で検索させる必要があります。

モバイル データの設定を手動で検索するには、以下の手順に従います。

1. [設定] メニューで、[接続の設定]、[モバイル データ] の順にクリックします。
2. [更新] をクリックします。モバイル データ デバイスが検索され、設定が記録されます。
3. [OK] をクリックします。

手動設定

場合によっては、iPassConnect が必要とする情報がカードにはすべて含まれておらず、正常に接続するためには一部の設定を手動で行う必要があります。詳細については IT 管理者に問い合わせてください。

モバイル データの設定を編集するには、次の手順に従います。

1. [設定] メニューで、[接続の設定]、[モバイル データ] の順にクリックします。
2. 必要に応じ設定を編集し、[OK] をクリックします。

キャリア識別情報

使用するモバイル データ キャリアによっては、モバイル データ カード用のキャリア ログイン識別情報 (ユーザ名およびパスワード) を設定する必要があります。または、モバイル データ識別情報が通常の iPassConnect ログイン識別情報と同じである場合があります。

カード用のログイン識別情報を設定するには、次の手順に従います。

1. [インターネット識別情報と同じ] チェックボックスのチェックマークを外します。
2. [キャリア ユーザ名] と [キャリア パスワード] に識別情報を入力し、[OK] をクリックします。

iPassConnect 識別情報にキャリア ログイン識別情報を設定するには、次の手順に従います。 [インターネット識別情報と同じ] チェックボックスをオンにし、[OK] をクリックします。

識別情報はモバイル データで接続するために使用する各カードについて設定されます。各カードについて設定した識別情報は記憶されるため、カードを取り外し、後で再度挿入した際、識別情報を再入力する必要はありません。

これらのオプションの一部は有効でないことがあります。ログイン識別情報の詳細については、担当の IT 管理者に問い合わせてください。

PIN によってロックされているカード

GPRS カードが PIN (個人暗証番号) によってロックされている場合は、使用する前に解除する必要があります。自動的にロックされた状態でインストールされるカードもありますが、カードの識別情報を連続して 3 回誤って入力した場合にもカードがロックされることがあります。

PIN によってロックされているカードを解除するには、次の手順に従います。

1. [設定] メニューで、[接続の設定]、[モバイル データ] の順にクリックします。
2. [ロック解除] をクリックします。

3. [PIN] にカードの PIN を入力して、[OK] をクリックします。ロックが解除され、カードを使用できるようになります。

PUK (PIN Unblocking Key) によってロックされているカードを使用するには、PUK が必要です。PUK を入力するには、カードに付属している接続マネージャ ソフトウェアを使用する必要があります。

ダイヤルのプロパティ

ダイヤルのプロパティは、外線発信を行ったりキャッチホン機能を無効にしたりするために必要な番号など、ダイヤルアップ接続に必要な設定です。ダイヤルアップ ユーザ (モデム、PHS、GSM、および ISDN 接続) の場合は、ダイヤルのプロパティを正しく設定することが重要です。(イーサネットや WLAN のようなブロードバンド接続を使用する場合は、ダイヤルのプロパティを設定する必要はありません)。

ダイヤル文字列とは、ダイヤルする電話番号に、ダイヤルのプロパティによって設定される番号を追加したものです。アクセス ポイントが異なっていると、ダイヤルのプロパティも異なる場合があります。たとえば 555-1212 という市内番号にダイヤルするときに、外線発信を行うための 9 とキャッチホン機能を無効にするための *70 をダイヤルする必要がある場合、ダイヤル文字列は「9, *70, 555 1212」になります。

ダイヤルのプロパティを設定するには、以下の手順に従います。

1. [iPassConnect] ダイアログ ボックスで、[ダイヤルのプロパティ] ボタンをクリックします。
2. [全般] の下にある [外線発信番号] テキスト ボックスに、外線発信に必要なダイヤル番号 (9 など) を入力します。
3. キャッチホン機能を無効にしたい場合は、[キャッチホン機能を無効] ボックスで、ドロップダウン リストから必要な文字を選択します。
4. [ダイヤル方法] で、電話システムがトーン ダイヤルを使用するのかパルス ダイヤルを使用するのかを選択します。(ほとんどの電話システムはトーン ダイヤルを使用します)。
- 5a. [現在の所在地] が接続先と同じ場合は、[同じ市内] チェックボックスをオンにし、ステップ 6 に進みます。

- または -
- 5b. [現在の所在地] が接続先と異なる場合は、[同じ市内] チェックボックスをオフにします。次に、以下の手順に従います。
 - [国] ドロップダウン リストから、発信元の国を選択します。

- [市外局番] に、ダイヤルしたい市外局番を入力します。
 - [市外局番の指定方法] ドロップダウン リストで、所在地のダイヤル方法 (市外局番の前に 1 をダイヤルするなど) を反映した指定方法を選択します。
 - ステップ 6 に進みます。
6. 通話カードを使用してダイヤルする場合は、[通話カード] の下に通話カードの情報を入力します。
 7. [OK] をクリックします。
 8. iPassConnect のメイン ダイアログ ボックスの下部にある [ダイヤルのプロパティ] ボタンの横に、完全なダイヤル文字列が表示されます。

DSL の設定

DSL 接続を使用する前に、DSL ログイン識別情報の設定が必要な場合があります。これらの識別情報を設定する必要があるかどうかを、インターネット プロバイダに確認してください。

DSL の設定を行うには、次の手順に従います。

1. [設定] メニューで [接続の設定] を選択し、[DSL] タブをクリックします。
2. 次のいずれかを実行します。
 - a. DSL ネットワーク識別情報が識別情報と同じである場合は、[インターネット識別情報と同じ] チェックボックスをオンにします。次に、必要に応じて [サービス名] に DSL サービスの名前を入力します。
 - b. お使いのキャリア ネットワークでへのログインに別の DSL 識別情報を使用する場合は、[キャリア ユーザ名] および [キャリア パスワード] にネットワークでのユーザ名とパスワードを入力します。次に、必要に応じて [サービス名] に DSL サービスの名前を入力します。
3. [OK] をクリックします。

I S D N 接続の設定

[接続の設定] の [ISDN] タブでは、ISDN 接続の設定を行えます。

1. [デバイス] の下に、デフォルトの ISDN モデム デバイスが表示されます。別のデバイスを使用して接続したい場合は、ドロップダウン一覧から選択します。
2. [再試行の設定] の下で、話し中の場合の再試行の設定を行います。

3. スマートリダイヤル機能を有効にしたい場合は、[スマートリダイヤル] にチェックマークを付けます。
4. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。

GSM 接続の設定

[接続の設定] の [GSM] タブでは、GSM 接続の設定を行えます。

1. [デバイス] の下に、デフォルトの GSM モデム デバイスが表示されます。別のデバイスを使用して接続したい場合は、ドロップダウン一覧から選択します。
2. [再試行の設定] の下で、話し中の場合の再試行の設定を行います。
3. スマートリダイヤル機能を有効にしたい場合は、[スマートリダイヤル] にチェックマークを付けます。
4. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。

イーサネットの設定

一部のネットワーク接続では、接続時に使用するイーサネット デバイスを指定する必要があります。(コンピュータにイーサネット デバイスが 1 つしかない場合は、そのデバイスがデフォルトで選択されます)

イーサネット デバイスを指定するには、次の手順に従います。

1. [設定] メニューで [接続の設定] を選択し、[イーサネット] タブをクリックします。
2. [デバイス] の下で、ドロップダウン一覧からイーサネット デバイスを選択し、[OK] をクリックします。

接続と切断

このセクションでは、ネットワーク自動検出、接続、切断を含む、接続手順について概要を説明します。

自動検出

コンピュータに正しいハードウェアが装備されている場合、iPassConnect はイーサネット接続、ローカル WLAN ホットスポット、およびモバイル データ ワイヤレス ネットワークを自動的に検出し、表示します。自動検出は探知と呼ばれることもあります。

自動検出されたネットワークにアクセスするには通常、有効なログイン識別情報が必要です。ネットワークが iPass 対応の場合、iPassConnect 識別情報がアクセスを付与します。その他のネットワークでは異なる識別情報が必要です。

イーサネット


ラップトップ コンピュータにイーサネット カードが装備されている場合、イーサネット ネットワークをコンピュータに接続すると、ネットワークは自動的に検出され、接続のために表示されます。各イーサネット接続は、必要な認証により、以下の 4 つのタイプのいずれかで表示されます。

- iPass: イーサネット接続は iPass ネットワークの一部です。接続するためには iPassConnect 識別情報が必要です。
- 認証必須: 接続は Walled Garden 環境の一部で、Web のコンテンツおよびサービスに対するユーザのアクセスは制御されます。識別情報なしで Web サービスの一部にアクセスできることがあります。通常、完全なアクセスを取得するためには有効なログイン識別情報が必要です。
- 802.1x: アクセスは 802.1x 接続を通じて行われ、アクセスを取得するためには有効なログイン識別情報が必要です。
- オープン: 認証は不要で、自動的に接続されます。

接続先のイーサネット アクセス タイプを正確に識別するのに時間がかかる場合があります。
iPassConnect が識別を行っている間には「識別中」と表示され、識別が済み次第正しい表示に切り替わります。

WLAN

コンピュータに WLAN カードがインストールされている場合、近くのワイヤレス ホットスポットが自動的に検出されます。検出されたホットスポットは電話帳の [利用可能なネットワーク] の下に信号強度の順に表示されます。

iPass アクセス ポイントは  アイコンで区別されます。iPass に対応した WLAN ホットスポットの自動検出により、SSID や WEP キーなど、WLAN 設定が自動的に構成されます。WLAN 設定を手動で構成する必要があるのは、iPass 以外のホットスポットを使用する場合だけです。詳細については、17 ページを参照してください。






モバイル データ

モバイル データ接続が有効で、モバイル データ カードがインストールされている場合、ローカルモバイル データ ネットワークが検出され、[利用可能なネットワーク] に表示されます。

モバイル データ ネットワークに接続するために必要な設定は、通常、モバイル データ カードがインストールされ、キャリアのネットワークでアカウントが有効となる際に行われます。しかし、一部のカードでは追加設定が必要な場合もあります。モバイル データの設定の詳細については 13 ページを参照してください。

ネットワーク情報

電話帳には自動検出された各ネットワークに関する情報が表示されます。

アイコン	名前	説明
	電話帳	ネットワーク アイコンは、このアクセス ポイントがネットワーク電話帳に含まれることを示します。
	信号強度計	信号強度計はワイヤレス信号の強さを示す多数のバーを表示します。(イーサネット接続の場合、常にすべてのバーが表示されます。)
	セキュア	鍵アイコンはアクセス ポイントが WEP などのプロトコルによりセキュアになっており、接続するためには有効な識別情報が必要であることを示します。
	情報	このアイコンをクリックすると、アクセス ポイントに関する情報が表示されます。詳細については、23 ページを参照してください。
	オートコネクション	ネットワークはオートコネクションの優先ネットワークです。詳細については、33 ページを参照してください。

接続

接続するには、次の手順に従います。

1. **接続の選択:** 接続を見つけるために以下のいずれかを選択します。

1a. *利用可能なネットワークを使用:* ローカルブロードバンドネットワークが自動検出されており、そのどれかに接続したい場合、接続先ネットワークの名前をクリックし、ステップ 5 に進みます。

- または -

利用可能なネットワークが一覧に表示されない場合は、ステップ 1b に進んで近くのアクセスポイントを所在地で検索するか、または米国内の場合、ステップ 1c に進んで近くのアクセスポイントを電話番号で検索します。

1b. *所在地で検索:* [所在地または電話番号で検索] の下で、使用するフィルタ基準をドロップダウンリストから選択します。各フィルタ基準により、アクセスポイントの検索範囲が特定の所在地へ狭められます。必要に応じて、検索範囲を広げたり狭めたりできます。

たとえば、国内のすべてのアクセスポイントを表示するには、[国] ドロップダウンリストからその国を選択します。

- 検索範囲をその国の特定の州または都道府県に狭めるには、[州/都道府県] ドロップダウンリストから該当する州または都道府県を選択します。(一部の国では、州または都道府県による検索は使用できません)。
- 検索を特定の市町村にさらに狭めるには、[市町村] ドロップダウンリストから市町村を選択します。

所在地の基準を入力し、ステップ 2 に進みます。

- または -

1c. *番号で検索:* もう 1 つの方法として、米国内のダイヤルアップアクセスポイントを検索する場合は、[国] ドロップダウンリストから [米国] を選択します。次に、[電話番号を入力] の下にある [市外局番] および [電話番号] テキストボックスに、所在地の市外局番と市内局番 (最初の 3 桁) を入力します。

2. **検索:** [検索] をクリックします。検索条件に一致するアクセスポイントが電話帳に表示されます。

3. **接続タイプの選択:** 電話帳内で、アクセスポイントの数が接続タイプごとに表示されます。たとえば [モデム (25)] は、モデム接続に使用できるアクセスポイントが 25 か所あることを示します。接続タイプの横にある右矢印 ▶ をクリックすると、各所在地が表示されます。


4. **アクセスポイントの表示:** ステップ 1 で所在地によって検索を行った場合、接続タイプの下に展開されたリストには、一連の所在地と、各所在地にある当該タイプのアクセスポイントの数が表示されます。たとえば、[モデム (25)] の下に [Townsville (5)] と表示されている場合は、Townsville に 5 つのモデム アクセスポイントがあることを示しています。右矢印をクリックすると、リストがさらに展開されて各アクセスポイントが表示されます。(ステップ 1 で番号によって検索を行った場合には、所在地名は表示されませんが、すべての電話番号が表示されます)。
5. **アクセスポイントの選択:** アクセスポイントのリストから、接続したいアクセスポイントをクリックします。
6. **接続:** [接続] をクリックします。iPass ネットワークに接続されます。(ユーザ識別情報の入力、または接続先 VPN ゲートウェイの入力を要求される場合があります)。

検索のヒント

- **検索の更新:** 検索条件を変更して新しいアクセスポイントを探す場合は、[検索] をクリックすると電話帳内に表示されているアクセスポイントが更新されます。
- **検索条件の保存:** 最後に指定した検索条件は iPassConnect を終了したときに保存され、ユーザが次回に iPassConnect を起動したときに表示されます。検索を最初からやり直す場合は、[クリア] をクリックし、ステップ 1 に戻ります。
- **フリーダイヤル番号:** 米国で番号で検索する場合、800 を入力すると、フリーダイヤルである 800、855、866、877、および 888 の市外局番に属する市内アクセスポイントを検索できます。

切断

切断するには、次の手順に従います。


1. Windows のシステムトレイで、iPassConnect のアイコン  を右クリックします。
2. [切断] を選択します。iPass ネットワークから切断されます。iPassConnect は Windows のシステムトレイで実行を維持します。
3. もう一つの方法として、[切断して終了] を選択すると、iPass ネットワークから切断され、アプリケーションが終了されます。

iPass ネットワークから切断しても iPassConnect クライアントはバックグラウンドで常駐しているため、Windows のシステムトレイを使用してクライアントにアクセスできます。

iPassConnect の終了

iPassConnect を終了すると、

iPassConnect を終了するには、次の手順に従います。

1. Windows のシステム トレイで、iPassConnect のアイコン  を右クリックします。
2. [終了] を選択します。


POP の詳細

POP (Point of Presence) は、アクセス ポイントを表す別の用語です。表示できる POP の詳細には、以下のものがあります。

- ロケーション：POP の所在地
- 住所: サイトの物理アドレス
- 電話番号： サイトと通信するための電話番号
- 最大速度：ダイヤルアップ POP の場合
- 接続料金：時間あたりの接続料金 (分かる場合)
- POP タイプ：このアクセス ポイントで可能な接続タイプ
- SSID (サービス セット識別子)：WLAN ブロードバンド POP 用
- 信号強度：WLAN ブロードバンド POP 用


POP に関して表示される情報は、電話帳とアクセス ポイントのタイプにより異なることに注意してください。

POP の詳細を表示するには、以下の手順に従います。

1. 通常どおり、アクセス ポイントを検索します。
2. 電話帳内の、その POP に属する行の [情報] 列で、 アイコンをクリックします。
3. 確認したら、[OK] をクリックします。

システムトレイのアイコン

以下の操作を行うには...	 アイコンを右クリックし、以下を選択
iPassConnect を開く (まだ接続されていない場合)	[iPassConnect を開く]
iPassConnect を終了する	[終了]
iPass ネットワークに接続する	[接続]
お気に入りに接続する	お気に入りの名前
iPassConnect を更新する	[更新]
iPass ネットワークから切断する	[切断]
iPass ネットワークから切断してアプリケーションを終了する	[切断して終了]

iPassConnect が実行されているときは、Windows タスクバーの右側のシステムトレイに iPassConnect アイコン  が表示されます。このアイコンを使用して、プログラムの様々な機能を実行できます。

追加機能

iPassConnect には、接続処理を拡張できる様々な追加機能があります。

こうした機能の一部はすべての iPassConnect ユーザ向けに設定されていません。有効な機能の詳細についてはヘルプデスクにお問い合わせください。

iPassConnect の更新

自動更新

iPassConnect は、ソフトウェアおよび電話帳の利用可能な更新があるかどうか一定の間隔で自動的に確認します。利用可能な更新がある場合、その更新をダウンロードしてインストールするように求められます。最大 15 日間、更新を保留することも選択できます。その期間が終了すると、iPassConnect は自動的に更新を行います。

手動更新

iPassConnect を手動で更新することにより、最新の電話帳とソフトウェアを入手できます。更新を行うには、インターネットに接続する必要があります。更新が完了したら、変更内容を反映させるために、iPassConnect を再起動する必要があります。

iPassConnect ソフトウェアまたは電話帳を更新するには、次の手順に従います。


1. Connect to the Internet using iPassConnect.
2. [設定] メニューで、[ソフトウェアの更新] を選択します。[ソフトウェアの更新] の横に、その項目が最後に更新された日時が表示されます。たとえば、[ソフトウェア更新 (Thu Feb 13 2004 09:00:00)] は、前回の更新が 2004 年 2 月 13 日 (木) の午前 9 時に行われたことを示しています。
3. iPassConnect は更新サーバにお問い合わせ、最新の更新をダウンロードしてインストールします。
4. 画面の指示に従って、更新ソフトウェアをインストールします。

お気に入り

[お気に入り] メニューでは、頻繁に使用するアクセスポイントの接続情報を、簡単に保存および再使用できます。

ダイヤルアップ接続の場合、市町村内のすべてのダイヤルアップ用アクセスポイントをお気に入りに追加できます。これにより、その市町村への接続には、このお気に入りに使用することができます。詳細については、30 ページの「市町村レベルでの接続」を参照してください。

アクセスポイントをお気に入りに追加するには、以下の手順に従います。

1. 通常どおり、アクセスポイントを選択します。
2. アクセスポイントを選択し、[お気に入りに追加] ボタンをクリックします。
3. [お気に入りに追加] ダイアログ ボックスで、お気に入りの名前やその他のデータなど、お気に入りの詳細を入力します。お気に入りに追加したアクセスポイントのダイヤルのプロパティを入力することもできます。
4. [OK] をクリックします。電話帳では、 という記号によって、アクセスポイントがお気に入りに追加されたことが示されます。

モバイル データ ネットワーク接続をお気に入りに追加することはできません。

既存のお気に入りに使用して接続するには、以下の手順に従います。

1. [お気に入りに] メニューで、使用したいアクセスポイントを選択します。
2. お気に入りが単一のアクセスポイントである場合、iPassConnect はそのアクセスポイントへの接続を試みます。お気に入りが市町村である場合、iPassConnect は接続が確立されるまで、その市町村内のすべてのダイヤルアップ用アクセスポイントにダイヤルします。詳細については、30 ページの「市町村レベルでの接続」を参照してください。

iPass ネットワークは常に成長発展しているため、既に廃止されたアクセスポイントがお気に入りに表示されることがあります。お気に入りに表示されている無効になったアクセスポイントに接続を試行すると、iPassConnect はその所在地と同じ所在地および接続タイプのアクセスポイントを探し、接続できるようにします。このとき、新しいアクセスポイントを古いものと置き換えて、お気に入りとして登録することもできます。

お気に入りを修正するには、以下の手順に従います。

1. [お気に入りに] メニューで、[お気に入りの編集] をクリックします。
2. [お気に入りの編集] ダイアログ ボックスで、編集したいお気に入りを選択し、[修正] をクリックします。
3. [お気に入りの修正] ダイアログ ボックスで、必要に応じて新規情報や改訂情報を入力します。
4. [OK] をクリックし、次に [お気に入りの編集] ダイアログ ボックスで [OK] をクリックします。

お気に入りを削除するには、以下の手順に従います。

1. [お気に入り] メニューで、[お気に入りの編集] をクリックします。
2. [お気に入りの編集] ダイアログ ボックスで、削除したいお気に入りを選択し、[削除] をクリックします。
3. [はい] をクリックして削除を確認します。

ホーム ブロードバンド接続

iPassConnect を使用すると、DSL、ケーブル モデム、WLAN ルータなど、既存のブロードバンド インターネット接続を利用して iPass ネットワークに接続することができます。この場合、ブロードバンド接続が既に確立されているため、iPassConnect はインターネットに接続しません。ただし、iPassConnect によって、VPN やパーソナル ファイアウォールなどのその他の統合アプリケーションが起動します。この接続形態は **ホーム ブロードバンド接続** とも呼ばれますが、オフィスの LAN 接続など、既存のインターネット接続もその範疇に含まれます。

たとえば在宅勤務者は、自宅のケーブル モデムから仕事用のラップトップ コンピュータを使用してインターネットに接続することができます。iPassConnect を起動し、ホーム ブロードバンド機能を使用すると、統合された VPN クライアントとパーソナル ファイアウォールも起動され、社内リソースに安全に接続できるようになります。

ホーム ブロードバンドを使用して接続するには、次の手順に従います。

1. DSL モデムなどのブロードバンド接続が既にインターネットに接続されていることを確認します。
2. コンピュータをブロードバンド接続に接続します。たとえば、WLAN カードを使用して、WLAN ルータにアソシエートできます。手順については、ブロードバンド接続のマニュアルを参照してください。インターネットに接続されます。
3. iPassConnect を起動します。
4. 電話帳内で、[ホーム ブロードバンド] の下の [既存のインターネット接続を使用] をクリックします。
5. 通常のように、iPass 識別情報を使用して、iPass ネットワークにログインします。
iPassConnect によって、VPN と iPassConnect に統合されているアプリケーションが起動されます。

ホーム ブロードバンド接続を切断するには、システム トレイにあるアイコンを右クリックし、[切断] を選択します。

接続後のプログラム起動

iPass ネットワークへ接続した後に自動的に他のプログラムを起動するように、iPassConnect を設定できます。たとえば、Web ブラウザやその他のプログラム (電子メール クライアントなど) を起動一覧に追加することにより、それらのプログラムを起動できます。

接続後にコンピュータのデフォルトの Web ブラウザを起動するように iPassConnect を設定するには、以下の手順に従います。

1. [設定] メニューの [接続の設定] を選択します。
2. [全般] タブをクリックします。
3. [接続後] の下の、[標準の Web ブラウザ] チェックボックスをオンにします。
4. [OK] をクリックします。

接続後に他のプログラムを起動するように iPassConnect を設定するには、次の手順に従います。

1. [設定] メニューの [接続の設定] を選択します。
2. [全般] タブをクリックします。
3. [接続後] の下の [プログラムの起動] で、[追加] をクリックします。
4. [接続完了後プログラムの追加/編集] ダイアログ ボックスの [所在地] の下で [ブラウズ] をクリックします。
5. 接続完了後に起動するプログラムへブラウズし、[開く] をクリックします。
6. [説明] フィールドに実行するプログラムの説明を入力します。たとえば、接続後に電子メール プログラムを起動する場合は、「My E-mail」などを入力します。
7. その他のプログラムを起動したい場合は、ステップ 3 ~ 6 を繰り返して希望のプログラムを一覧に追加していきます (必要に応じて、後でプログラムを追加することもできます)。
8. 確認したら、[OK] をクリックします。

起動するプログラムの一覧内のエントリを修正するには、以下の手順に従います。

1. [設定] メニューの [接続の設定] を選択します。
2. [全般] タブをクリックします。
3. [接続後] の下の [プログラムの起動] で、変更したいプログラムの名前を選択し、[修正] をクリックします。

4. [接続完了後プログラムの追加/編集] ダイアログ ボックスで、訂正した説明を入力するか、またはプログラムの新しい場所へブラウズします。
5. [OK] をクリックします。

一覧からプログラムを削除するには、以下の手順に従います。

1. [設定] メニューの [接続の設定] を選択します。
2. [全般] タブをクリックします。
3. [接続後] の下の [プログラムの起動] で、自動的に起動するプログラムの一覧から削除するプログラムを選択します。
4. [削除] をクリックします。(この手順でプログラムがコンピュータから削除されることはありません。自動的に起動するプログラムの一覧から削除されるだけです)。
5. [OK] をクリックします。

ダイヤルアップ拡張機能

以下の機能は、ダイヤルアップ (モデム、PHS、GSM、または ISDN) 接続にのみ適用されます。

スマートリダイヤル

ダイヤルアップ接続にスマートリダイヤル機能を使用すると、iPassConnect は、接続に成功するまで同じ市内のすべてのアクセス ポイントに自動的にダイヤルし続けます。

スマートリダイヤル機能を有効にするには、以下の手順に従います。

1. [設定] メニューの [接続の設定] を選択します。
2. 接続タイプに応じて、[ダイヤルアップ] タブ (モデム、PHS、または GSM 接続の場合)、または [ISDN] タブ (ISDN 接続の場合) を選択します。
3. [再試行の設定] の下にある [スマートリダイヤル] チェックボックスをオンにします。
4. [OK] をクリックします。

ほとんどの場合、スマートリダイヤルはデフォルトで有効になります。可能な場合にはスマートリダイヤルをオンにして、ダイヤルアップ接続の操作を簡単にするをお勧めします。

話し中の場合の再試行

ダイヤルアップ接続に使用される話し中の場合の再試行機能では、接続に失敗したときに、話し中だったアクセス ポイントに再度ダイヤルするように設定できます。この機能は、お気に入りに指定し

たアクセスポイントを使用するとき、またはアクセスポイントが少なく、インターネットトラフィックが多い環境でローミングする場合に便利です。

iPassConnect で話し中の場合の再試行の設定をするには、以下の手順に従います。

1. [設定] メニューの [接続の設定] を選択します。
2. 接続タイプに応じて、[ダイヤルアップ] タブ (モデム、GSM、および PHS 接続の場合) または [ISDN] タブ (ISDN 接続の場合) を選択します。
3. [再試行の設定] の下で、[ダイヤル試行回数] テキスト ボックスに接続試行の回数を入力します。
4. [ダイヤル後に接続完了を待つ時間] テキスト ボックスで、ダイヤル間の待ち時間を秒単位で指定します。ここでは、各ダイヤル試行の完了までにかかる時間を見込んで 120 秒以上の値を設定します。
5. [OK] をクリックします。

スマートリダイヤル機能は、iPassConnect が、接続試行に失敗したときに次のアクセスポイントに進むので、この話し中の場合の再試行機能とは矛盾することがあります。可能な場合には、信頼性を高めるために、スマートリダイヤルを優先させてください。

市町村レベルでの接続

ダイヤルアップ接続 (モデム、PHS、GSM、または ISDN) を使用する場合、iPass ネットワークに接続するために個々のアクセスポイントを選択する必要はありません。その代わりに、接続に成功するまで、自動的に市町村内の一連のアクセスポイントへ順番に接続を試みることができます。これは、特定のアクセスポイントを指定する必要がなく、単に近くのアクセスポイントに接続したい場合に役立ちます。

ダイヤルのプロパティは、市町村レベルで設定することもできます。詳細については、13 ページの「ダイヤルのプロパティ」を参照してください。


企業によっては、個々のアクセスポイントへのダイヤルを無効にし、市町村レベルのダイヤルのみを有効にしています。詳細については、ヘルプデスクに確認してください。

市町村レベルで接続するには、以下の手順に従います。

1. 通常どおり、所在地か電話番号でアクセスポイントを選択します。
2. [モデム]、[PHS]、[GSM] または [ISDN] の下で、接続したい市町村名をダブルクリックします。iPassConnect によって、その市町村内の最適なアクセスポイントにダイヤルが試行されます。

3. スマートリダイヤルがオンになっているときに最初のアクセスポイントへの接続に失敗した場合、iPassConnect は接続に成功するまでその市町村内の他のアクセスポイントにダイヤルします。スマートリダイヤルがオンになっていないときに接続に失敗した場合、iPassConnect は 29 ページの「話し中の場合の再試行」に記載されている設定に基づいて、最初のアクセスポイントに再度ダイヤルします。

市町村をお気に入りに追加するには、次の手順に従います。

1. 通常どおり、国と市町村を選択します。
2. [モデム] の下で、[ISDN] を選択します。[GSM] または [PHS] の下で市町村の名前をクリックし、[お気に入りに追加] ボタンをクリックします。
3. [お気に入りに追加] ダイアログボックスで、お気に入りの名前やその他のデータなど、お気に入りの詳細を入力します。お気に入りに追加する接続のダイヤルのプロパティを入力することもできます。
4. [OK] をクリックします。電話帳内で、 というリボン記号によって、市町村がお気に入りに追加されたことが示されます。

通話カードの使用

ダイヤルアップ接続に通話カードを使用する場合は、単一の通話カードの情報を iPassConnect に保存できます。

通話カードの情報を保存するには、以下の手順に従います。

1. iPassConnect のメインダイアログボックスで、通常どおりアクセスポイントを指定し、[ダイヤルのプロパティ] をクリックします。
2. [通話カード] の下で、[通話カードの使用] チェックボックスを選択します。
3. [通話カード] ボタンをクリックします。
4. [通話カード] ダイアログボックスの [ダイヤルの方法] に、通話カードでダイヤルする電話番号と、この表に示された適切なコード記号を入力します。通話カードに記されている形式に従っている限り、どのような記号と番号の組み合わせでも入力できます。たとえば、通話カードに、「1 800 555 5050 + PIN + 市外局

記号	意味
E	国番号
F	市外局番
G	電話番号
H	通話カードの PIN
P	パルス方式でダイヤルする
T	トーン方式でダイヤルする
W	二次発信音を待つ
,	ポーズ (約 1 秒間)
!	フラッシュ
@	無音状態を待つ
\$	通話カードの入力待ち信号音を待つ
?	ユーザ入力を待つ

番 + 電話番号の順にダイヤルする」と記載されている場合、ダイヤルの方法は、「1 800 555 5050 HFG」です。注意: iPassConnect で使用可能な記号の一覧を表示するには、[記号] ボタンをクリックします。

5. [PIN] に、通話カードの個人 ID 番号を入力します。
6. [OK] をクリックします。
7. [お気に入りの編集] ダイアログ ボックスで、[OK] をクリックします。

ライブ ログオン

ライブ ログオンを使用して、現在、社内ネットワークに直接接続されていないコンピュータから社内ドメインにログオンできます。iPassConnect は、まずインターネットに接続し、社内ドメインにログインするための認証を提供することにより、ログイン処理の仲介を行います。したがって、デバイスがあたかも社内ネットワークに接続されているかのように、コンピュータから社内ドメインにログインできます。

ライブ ログオンは、ネットワーク接続を必要とする起動サービスが、コンピュータ上でファイル サーバやポリシー サーバへのアクセスなど、ログイン処理の一部として実行する必要がある場合に使用できます。

企業でライブ ログオンが有効な場合、別のログイン方法でコンピュータにログインする必要があります。

1. **Ctrl + Alt + Del** を押してログイン処理を開始します。
2. [Windows へログオン] ダイアログ ボックスでユーザ名とパスワードを入力します。[ログオン先] のドロップダウン リストからドメインを選択します。[OK] をクリックします。
3. iPassConnect で、電話帳から接続を選択し、[接続] をクリックします。社内ドメインにログインします。

Windows 接続マネージャの使用

企業で Windows 接続マネージャが有効な場合、この手順を使用してライブ ログオンを行います。

1. **Ctrl + Alt + Del** を押してログイン処理を開始します。
2. [Windows へログオン] ダイアログ ボックスでユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。


3. [ネットワーク接続] ダイアログ ボックスで、ドロップダウン リストからネットワーク接続を選択し、[接続] をクリックします。
4. iPassConnect で、電話帳から接続を選択し、[接続] をクリックします。
5. [ログイン情報] で、iPassConnect ユーザー名とパスワード (必要があればドメインも) を入力し、[OK] をクリックします。社内ドメインにログインします。

ワイヤレス オートコネクション

ワイヤレス オートコネクションが有効な場合、優先するワイヤレス アクセス ポイントのリストに対して、繰り返しサインインすることなく、WLAN 接続が自動作成されます。オートコネクションは WLAN が普及しているローカル キャンパスのホットスポットのセットに使用されます。ユーザはキャンパス上を動き回ることが可能で、繰り返しログインしなくても、ワイヤレス アクセスを通じて接続を維持できます。

複数のネットワークについてオートコネクションが有効な場合、iPassConnect はまず電話帳に記載されているアクセス ポイントへの接続を試行し、次に任意のパーソナル ネットワークを信号強度の順に接続試行します。

オートコネクションを有効にし、接続用の優先ネットワークを選択するには、次の操作を行います。

1. [設定] メニューで [接続の設定] を選択し、[WLAN] タブをクリックします。
2. [優先するネットワークに自動接続する] を選択します。
3. パーソナル ネットワーク リストに、追加したパーソナル ネットワークを含む、すべての WLAN ネットワークを表示するには、[すべての WLAN ネットワークを表示する] を選択します。(これにより、自動検出されたネットワークと電話帳の [パーソナル ネットワーク] リストのネットワークを選択できるようになります)
4. [パーソナル ネットワーク] の下で、表示されているネットワークの 1 つを選択し、[修正] をクリックします。
5. [パーソナル ネットワークの修正] ダイアログ ボックスで、[この SSID に自動接続する] を選択します。
6. [OK] をクリックします。[パーソナル ネットワーク] リストに、選択したネットワークとオートコネクション アイコンが表示されます。 
7. [パーソナル ネットワーク] リストから、オートコネクション用のネットワークをさらに選択するか、[OK] をクリックして完了します。

接続時のログオフ

接続時のログオフは、Nortel Contivity VPN クライアントと統合されたクライアントで設定可能です。これによって、Nortel VPN クライアントを使用し、インターネットとローカル システムへと安全にログインすることができます。ご使用の環境で接続時にログオフが有効になっているかどうかについては、ヘルプ デスクに確認してください。

接続時にログオフを使用するには、以下の手順に従います。

1. Windows ログイン画面で、通常どおりコンピュータにログインします。
2. **iPassConnect** を使用して接続します。iPassConnect がインターネットに接続し、Nortel VPN クライアントを起動します。iPass ネットワークのための認証が行われます。認証に成功すると、Contivity VPN によってローカル コンピュータからはログオフされますが、インターネットと社内 LAN への接続は維持されます。
3. **再度ログインします**。Windows ログイン画面が、再度表示されます。**Ctrl + Alt + Del** を押してログインし、ログイン識別情報を入力します。この後続のログインでは、Nortel VPN の接続上で、ドメイン コントローラによって認証が行われます。これにより、ローカル システム、社内の LAN、およびインターネットに接続されます。iPassConnect は通常どおり、Windows のシステム トレイに表示されます。

サポート

このセクションでは技術支援を必要とする際に役立つ機能について説明します。

技術サポート

iPassConnect の技術サポート情報を入手するには、以下の手順に従います。

1. [ヘルプ] メニューで、[技術サポート] を選択します。
2. ダイアログ ボックスに、社内のヘルプ デスクの連絡先情報が表示されます。
3. [OK] をクリックして閉じます。

接続ログ

接続ログには、接続に成功したものも失敗したものも含めて、過去の接続履歴が表示されます。この情報はアクセスに関する問題を診断する際に役立ちます。

接続ログを表示するには、以下の手順に従います。

1. 接続ログを表示するには、[ヘルプ] メニューで [接続ログ] を選択します。
2. 接続ログが表示されます。
3. [OK] をクリックして閉じます。

ヘルプ

iPassConnect のヘルプを参照するには、F1 キーを押すか、[ヘルプ] メニューの [ヘルプのトピック] を選択します。ヘルプ ブラウザの [追加情報] には会社固有の接続情報が表示されることがあります。

バージョン情報

[バージョン情報] ダイアログ ボックスには、iPassConnect クライアントの詳細が表示されます。この情報は、技術サポートを受けるときに必要なことがあります。以下の情報が表示されます。

- バージョン: ソフトウェアのバージョン番号
- 設定: プロファイル番号と電話帳番号
- 著作権
- 電話帳の更新: アクセス ポイントのディレクトリが最後に更新された日付が表示されます。
- ソフトウェアの更新: iPassConnect ソフトウェアと関連の設定ファイルが最後に更新された日付が表示されます。

[バージョン情報] ダイアログ ボックスを表示するには、次の手順に従います。

1. [ヘルプ] メニューで、[バージョン情報] をクリックします。
2. 確認したら、[OK] をクリックします。

その他詳細

iPassConnect のインストールまたは操作に関して質問がある場合はヘルプ デスクにお問い合わせください。

トラブルシューティング ヒント

iPass ネットワークへの接続に関する問題が発生した場合、以下のトラブルシューティング ヒントが問題の解決に役立つことがあります。これらのヒントは、あくまで参考までにご参照ください。これらのヒントで問題が解決しない場合は、ヘルプ デスクにお問い合わせください。

全般的な接続のヒント

以下のヒントは、iPassConnect を使用した接続全般に適用されます。

アクセス ポイントへの接続が困難

- 選択したアクセス タイプに合ったハードウェアを使用していることを確認します。たとえば、WLAN アクセス ポイントにアクセスするには、WLAN カードを使用する必要があります。
- 接続先のアクセス ポイントが無効になっているか、一時的に利用できなくなっている可能性があります。同じ市内の別のアクセス ポイントにダイヤルしてみてください。
- 既に無効になっているアクセス ポイントを使用している可能性があります。電話帳を更新するか、または新しいアクセス ポイントを選択してみてください。
- ダイヤルのプロパティが正しく入力されていることを確認します。前回 iPassConnect を使用したときとは異なる場所から接続しようとしている場合は、設定を変更しなければならないことがあります。

所在地内にアクセス ポイントがない

- 探している市町村が電話帳に載っていないこともあります。近隣の市町村のアクセス ポイントがある可能性があります。
- 可能な場合、他のアクセス タイプで接続してください。たとえば、市内でブロードバンドにアクセスできないブロードバンド ユーザは、市内のダイヤルアップ接続を探してみてください。
- 米国では、同じ市外局番の別の都市 (市内通話扱い) があるかどうか確認してください。
- 一部の国では、全国统一料金またはトールフリーが実施されています。全国统一料金のアクセス ポイントは市内料金であるため、通常は比較的安くなっています。トールフリーのアクセス ポイントは市内通話ではなく、一般に、通常よりも高い接続料金をユーザまたはユーザの会社に請求します。(米国では、[番号で検索] に 800 を入力すると、トールフリーである 800、855、866、877、および 888 の市外局番に属するアクセス ポイントが一覧表示されません。)

- 市外のアクセス ポイントについては、市内のオペレータに国内料金を確認してください。一部の国では、国内の長距離通話料金が非常に安くなっています。

不正なパスワード

- ユーザ名、ドメイン名、およびパスワードを再入力します。
- パスワードを入力では、大文字と小文字が区別されます。CAPS LOCK キーが押されていないことを確認してください。
- [ログイン情報] の [ドメイン] フィールドに、「example.com」などの正しいドメイン名が入力されていることを確認します。
- 認証サーバがダウンしているか、オフラインになっている可能性があります。ヘルプ デスクに確認してください。
- 使用しているユーザ アカウントが無効になっている可能性があります。ヘルプ デスクに確認してください。
- 接続先のアクセス ポイントが無効になっているか、一時的に利用できなくなっている可能性があります。同じ市内の別のアクセス ポイントにダイヤルしてみてください。

パスワード認証が遅い

- 一部の地域では、接続に 120 秒以上を要することがあります。処理が完了するまで待ってください。
- 一般に、接続元から離れているほど認証プロセスに時間を要します。[設定] メニューで [接続の設定] を選択し、[ダイヤルアップ] タブをクリックします。[ダイヤル後に接続完了を待つ時間] が 120 秒に設定されていることを確認します。それでも正しく認証が行われない場合は、この時間を最長 180 秒まで設定してみてください。
- 認証サーバがダウンしているか、オフラインになっている可能性があります。ヘルプ デスクに確認してください。

ダイヤルアップのトラブルシューティング ヒント

以下のヒントは、ダイヤルアップ (モデム、PHS、GSM、および ISDN) 接続に適用されます。

アクセス ポイントへの接続が困難

- ダイアルのプロパティで、必要な外線発信番号と市内ダイヤル番号が設定されていることを確認します。多くのホテルでは、外線発信を行うときに追加の文字をダイヤルする必要があります。

- 受話器をとり、手動でアクセス ポイントの電話番号をダイヤルします。問題を説明するメッセージが流れる場合があります。たとえば、ホテルのスイッチボードのオーバーロードや、外線発信番号の 9 をダイヤルする必要があるなどの可能性があります。
- 接続先のアクセス ポイントが無効になっているか、一時的に利用できなくなっている可能性があります。同じ市内の別のアクセス ポイントにダイヤルしてみてください。
- 既に無効になったアクセス ポイントに接続を試みている可能性があります。新しいアクセス ポイントを選択してみてください。
- ダイヤルのプロパティが正しく入力されていることを確認します。前回 iPassConnect を使用したときとは異なる場所から接続しようとしている場合は、設定を変更しなければならないことがあります。
- 番号を覚えている場合でも、手動で [ダイヤル文字列] ボックスにアクセス ポイントの電話番号を入力しないでください。

発信音が聞こえない

- 電話を接続してダイヤルし、電話回線に問題がないか確認します。
- 電話線 (モジュラー ケーブル) がコンピュータと壁面の電話ジャックにしっかり接続されているか確認します。
- 電話回線が、適切な PC カードの挿入ジャックに接続されているか確認します。
- スピーカの音量が上がっているか確認します。
- モデムが発信音を認識していない可能性があります。ダイヤルしたときに発信音を検出しないように、Windows ソフトウェアを再設定する必要があるかもしれません。詳細については、Windows のヘルプ ファイルを参照してください。

モデムが見つからない/モデム音が聞こえない

- モデムがコンピュータにインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、モデムのインストールが必要です。
- 複数のモデムがインストールされている場合は、正しいモデムを使用して接続していることを確認します。
- 電話を接続してダイヤルし、電話回線に問題がないか確認します。
- 電話線 (モジュラー ケーブル) がコンピュータと壁面の電話ジャックにしっかり接続されているか確認します。
- 電話回線が、適切な PC カードの挿入ジャックに接続されているか確認します。

- デジタル電話システムの場合は、接続用の特別なアダプタが必要になることがあります。専用ファックス回線へのアクセスを要求することもできます。ファックスはアナログです。
- ダイヤルのプロパティが正しく入力されていることを確認します。前回 iPassConnect を使用したときとは異なる場所から接続しようとしている場合は、設定を変更しなければならないことがあります。[選択したアクセス ポイントと同じ市内] のチェックボックスをオン (またはオフ) にして、再度接続を試みます。
- モデムの音が聞こえない場合は、スピーカの音量がオフまたは使用不能になっていないかを確認します。
- モデムが発信音を認識していない可能性があります。ダイヤルしたときに発信音を検出しないように、Windows を再設定する必要があるかもしれません。詳細については、Windows のヘルプ ファイルを参照してください。

モデムの音が大きすぎる/止まらない

- 電話回線が、既に使用されていないことを確認します。
- モデムの音量設定が大きすぎる可能性があります。コンピュータとモデムの両方または一方の音量を下げます。
- モデムが通信の同調に失敗しているか、互換性がない場合は、手動でモデムを設定し直す必要があります。モデムに付属のマニュアルを参照するか、ヘルプ デスクに問い合わせてください。

回線が話し中

- 接続先のアクセス ポイントが無効になっているか、一時的に利用できなくなっている可能性があります。同じ市内の別のアクセス ポイントにダイヤルしてみてください。
- 既に無効になっているアクセス ポイントを使用している可能性があります。電話帳を更新するか、または新しいアクセス ポイントを選択してみてください。
- 受話器をとり、手動でアクセス ポイントをダイヤルします。問題を説明するメッセージが流れる場合があります。たとえば、ホテルのスイッチボードシステムのオーバーロードや、外線発信番号の 9 をダイヤルする必要があるなどの可能性があります。
- モデムが発信音、話し中の信号音、またはその両方を認識していない可能性があります。ダイヤルしたときに発信音を検出しないように、Windows を再設定する必要があるかもしれません。Windows のヘルプ ファイルを参照してください。

応答がない人の声で応答がある

- 接続先のアクセス ポイントが無効になっているか、一時的に利用できなくなっている可能性があります。同じ市内の別のアクセス ポイントにダイヤルしてみてください。
- 無効になったお気に入りを使用している可能性があります。新しいアクセス ポイントを選択してみてください。
- ダイヤルのプロパティが正しく入力されていることを確認します。前回 iPassConnect を使用したときは異なる場所から接続しようとしている場合は、設定を変更しなければならないことがあります。

セッションの途中で接続が中断される/切断される

- 突然の切断は、電磁波障害 (Electro Magnetic Interference: EMI)、回線のノイズ、またはトラフィックの輻輳が原因である場合があります。アクセス ポイントに再接続してみてください。
- インターネットに接続したまま使用していない場合に自動的に切断するように、iPassConnect が設定されている可能性があります。ヘルプ デスクにお問い合わせください。

Web ページへのアクセスが遅い

- 低速な Web アクセスは、電磁波障害 (Electro Magnetic Interference: EMI)、回線のノイズ、またはインターネットの輻輳が原因である場合があります。アクセス ポイントに再接続してみてください。

イーサネットのトラブルシューティング ヒント

以下のヒントはイーサネット接続に適用されます。

iPassConnect を使用してログインできない

- iPassConnect を使用してログインに成功したことがない場合は、アカウントが有効でないか、ローミングに対応していない可能性があります。社内の手順に従ってアカウントの状況を確認するか、社内の iPass 管理者に詳細を問い合わせてください。
- イーサネット ケーブルがコンピュータと壁面ジャックにしっかり接続されているか確認します。
- ほとんどのイーサネット カードはケーブル コネクタに付けられた LED によって、イーサネット接続が有効かどうか示されています。LED が点灯していることを確認してください。

WLAN のトラブルシューティング ヒント

以下のヒントはワイヤレス ブロードバンド接続に適用されます。

***iPassConnect* を使用してログインできない**

- *iPassConnect* を使用してログインに成功したことがない場合は、アカウントが有効でないか、ローミングに対応していない可能性があります。社内の手順に従ってアカウントの状況を確認するか、社内の *iPass* 管理者に詳細を問い合わせてください。
- WLAN アダプタが正しくインストールされていることを確認します。必要な場合には、アダプタのマニュアルを参照します。
- 壁、柱、大型機械などの障害物に妨害されていないことを確認します。
- Windows システムトレイに通常置かれているリンク状況メータをチェックして、信号強度と品質が 50% 以上であることを確認します。アイコンの上にマウス ポインタを移動すると、リンク状況が表示されます。

モバイル データのトラブルシューティング ヒント

以下のヒントはモバイル データ ワイヤレス接続に適用されます。

***iPassConnect* を使用してログインできない**

- キャリアのネットワークの圏域外の可能性があります。
- *iPassConnect* でモバイル データ カードを使用するには、キャリアのネットワークのアカウントを取得する必要があります。
- *iPassConnect* を使用してログインに成功したことがない場合は、キャリアのアカウントが有効でないか、ローミングに対応していない可能性があります。詳細については、ヘルプデスクに問い合わせてください。
- モバイル データ カードが正しくインストールされていることを確認します。必要な場合には、カードのマニュアルを参照します。
- モバイル データの信号の障害の可能性があります。信号をブロックするような建物の中または近くではないことを確認してください。また、壁、柱、大型機械などの障害物に妨害されていないことを確認します。
- アンテナが十分に伸びていないか、誤った方向に向いている可能性があります。
- [接続の設定] の [モバイル データ] を確認してください。ユーザ名やパスワードなど、アカウントの識別情報が正しく記録されていることを確認します。
- モバイル データ カードで SIM を使用している場合、SIM が正しくカードに挿入されていることを確認してください。